



高岡 聡子 たかおか さとこ

- 1929年 10月に京都に生まれる
- 1940年 学校法人自由学園に入学
- 1951年 伝染病研究所(東京大学医科学研究所)入所
勝田南教授と出逢い組織培養を習う
- 1960年 文部省癌研究費の助成を受け
「組織培養研究所」の班員となる
- 1978年 「組織培養研究所」が事実上の解散
- 1980年 獨協医科大学にて研究を継続
尾崎会長と出会う
- 1990年 宇都宮東病院 組織培養記念研究所開所
- 2015年 12月 87歳にて逝去

東京大学医科学研究所で「故 勝田南」先生に師事し、我が国における細胞培養の黎明期から近年まで培養技術の開発研究に深くかかわり大きな貢献を果たされました。同時に、現在第一線で活躍されている多くの研究者のご指導に当たられました。

医科学研究所を退官された後は獨協大学に移られ定年まで培養細胞の研究に従事されていました。

1990年、尾崎会長の招きにより、宇都宮東病院内に「組織培養記念研究所」を構え、勝田先生亡き後、お一人で研究を続けてられました。

研究については勝田先生の口ぐせであった「基礎医学は臨床医学に還元されて初めて生きる」という研究姿勢を守り、勝田先生の遺されたテーマを引き継ぎ、亡くなる2週間前まで研究をお続けになられました。

2015年12月14日、87歳で天命を全うされました。

こちらは高岡 聡子先生の個人蔵書の数々です。先生が残された膨大な書をご興味のある皆様にも読んでいただきたいと思い、閲覧を開始させていただきました。